

# 留学報告書

2015.11.25

Carnegie Mellon University Tepper School of Business

永島航洋

## 1 生活

2015年6月末よりピッツバーグに家族4人(私、妻、子供2人)で引っ越しました。当初はベッドやいすがIKEAから届かず、床での生活をしておりましたが、現在はまともな生活ができています。Pittsburghは人口30万人ほどの小さな町で、あまりエンターテインメント的なものはありません。周りの人は退屈な町だと言っています。が、島根県出身の私としては、ゴミゴミしてなく、何も無い感じが心地よいです。また、スーパーや病院、雑貨店などは近くにあるため、生活には便利です。Pittsburghは勉学に励むには良い場所なのではないでしょうか。

## 2 クラス関連

### 2.1 サマースクール

7月から約1か月間、留学生向けの英語のクラスを受講しました。ライティングとスピーキングの授業です。授業は当然英語なので、ライティングとスピーキングに加えて、必然的にリスニングとリーディングも鍛えられました。また、アメリカの授業での振る舞い方(発言の仕方、ディスカッションの仕方 etc)といったことも教わりました。

### 2.2 Base Camp

8月から約1か月間はBase Campという本科前のオリエンテーション的なコースを受講しました。Base Campではカリキュラム、クラブ活動、就活支援などの説明を受けたり、本科でのクラスをシミュレートしたグループワークを行ったりしました。本科の準備段階としてはとても有効な期間だとも思いました。また、このBase Campとサマースクールの間には家具準備、ネットや携帯の契約、子供の学校準備、自動車免許取得などを終わらせ、生活の基盤が整いました。

### 2.3 本科 Mini1

TepperはMiniという単位で学期が区切られています。一年間は基本的には4つのMiniで構成されています。Mini1ではすべて必修のクラスを受けることとなります。以下に概要を記します。

- Corporate Strategy

基本的にケースでの授業でした。企業を「サイクル」という概念で分類し、それぞれのサイクルで適切な戦略を考える、という話でした。教授の解説を聞き取るのが非常に困難でした。

- **Managerial Economics**

自由市場や独占市場での価格の決め方や企業のふるまい方について学びました。数式をもって、市場の動きがある程度説明できることに感心しました。

- **Probability and Statistics**

基本的な確率と統計の授業でした。T検定やP値の扱い方といったことを扱い、理系バックグラウンドの学生にはとても優しい授業でした。ただ、しっかり復習できてよかったです。

- **Interpersonal Communication**

クラスメイトの前で模擬面接や模擬会議を行い、適切なふるまいを学ぶという授業でした。常に相手のディシジョンクライテリアを意識して、クラスの前に事前に打ち合わせをして模擬会議に臨むのですが、本番で相手の英語が聞き取れず、大変な思いをしました。この授業が一番大変でした。

- **Accounting**

レクチャー形式の会計の授業でした。B/S, Income Statement, Cash flowの読み方、作り方を学びました。まったく触れたことのない分野でしたので新鮮でした。

## 2.4 本科 Mini2

現在は Mini2 が始まったところです。Mini2 では以下のクラスを受講しています。

- Finance 1
- Managing People and Teams
- Marketing Management
- Operations Management
- Optimization

## 3 課外活動

### 3.1 エンジニアとビジネスアイデアをつなぐシステムづくり

エンジニアリングスクールの学生とビジネススクールの学生をもっと効率的にネットワークさせるためのシステムづくりを、クラスの同級生と開始しました。学校内に同じような狙いのサイトはあるのですが、あまり機能していないようです。まずは学生たちにインタビューをし、現在の問題を洗い出しているところです。問題を整理してからプロダクトデザインを始めたいと思っています。

### 3.2 シリコンバレートレック

Mini1 と Mini2 の間には約 10 日間の休みがあります。この期間にクラスメイト 4 名とシリコンバレーに行き、シリコンバレーでのスタートアップやベンチャーキャピタルの方々と交流してきました。

まず **Founder World** というスタートアップが集まるイベントに参加しました。50 から 60 ぐらいのスタートアップが集まっており、社員の方々とお話しました。そのうちの 1 社とは実際にお手伝いをさせて頂くことになりました。これについては次項で記載します。

その後、**Google, Facebook** などを見学しました。両社とも広大な敷地にオフィスを構えていて、オフィス内もとてもオープンな雰囲気でした。グーグルはキャンパス内に謎のオブジェがたくさんありました。社員曰く、会社に来たくなる雰囲気がある、とのことでした。日本企業にはなかなかまねのできない部分かなとも思いました (**Google** にしかできないともいえるかもしれません)。

また、バークレーとスタンフォードの船井奨学生とも交流会を行いました。**Tepper** のクラスメイトも、優秀な **PhD** の学生と交流できとても刺激的だった、と言っていました。

### 3.3 スタートアップでの活動

**Founder World** で知り合ったスタートアップでプロダクトディベロップメントの手伝いをすることにしました。**NDA** 上詳しくは記載できませんが、その会社は光を使って食品や土壌の分析をするハンディのプロダクトを作ろうとしています。私はプロダクトの仕様作成や開発計画作成を手伝っています。

## 4 最後に

アメリカは物価及び学費が高く、私のような、社費でない **MBA** 生にとって財団の存在はとても大きな支援になっています。この場をお借りし、船井財団関係各位に感謝申し上げます。

また、経済面だけでなく、船井奨学生の繋がりはとても強力なネットワークだと感じています。他の **MBA** の学生から技術について問い合わせがあったときに船井奨学生ネットワークにアクセス出来ることは私にとって大きな強みになっています。**Robotics** についての問い合わせがあったときにはバークレーの金石さん、デザインについては吉本さんに助言頂いたりしました。今後は **MBA** 生活を経て構築したネットワークを船井奨学生の助けに役立てられるよう努力していきます。

以上